

○健康科学部看護学科の3つのポリシー

アドミッション・ポリシー

専門的な知識や技術、判断力及び倫理的な感受性を身につけ、地域包括ケアの時代に、医療施設のみならず保健・医療・福祉のそれぞれの分野で、社会からの期待に応えられるサービスを提供する専門職として活躍できる看護職を育成します。また、地域社会及び国際社会における看護の役割と機能に関心を持ち、国際的視野を有する看護職を育成します。

【求める学生像】

1. 人の健康と生命に関心を持ち、看護に関する学問・実践に意欲がある人
2. 豊かな人間性を持ち、他者の権利と尊厳を重んじる態度が備わっている人
3. 科学的かつ柔軟な発想をもって問題を解決する意欲と行動力を備えた人
4. 主体性をもって多様な人々と連携・協働し、リーダーシップがとれる人
5. 国際社会や異文化に対して広い関心を持った人

【高等学校段階までに修得しておくことが望ましい学力・能力水準】

1. 大学で看護学を学ぶために必要となる諸科学に対する十分な基礎学力
2. 自分の考えを他者に対し、口頭や文章で伝えることができる程度の思考力・表現力を身につけている
3. 生徒会活動、特別活動等の諸活動に参加することで、主体的な行動力や協調性を身につけている
4. 実用英語技能検定等の外国語関連資格取得に積極的に取り組む姿勢

カリキュラム・ポリシー

【教育内容】

看護学の基盤となる価値や理念を理解し、それらを具現化する基礎的な知識、思考力・判断力・表現力を養成するために、教養および看護基幹科目の科目群を配置します。

看護学及び関連領域の蓄積に基づき、人と社会を支援するための専門的技術の基盤となる価値・知識・技術を、講義・演習・実習等により体系的に身につけるために、看護基幹科目および看護展開科目の科目群を配置します。

看護師、保健師の国家資格取得に必要な指定科目を配置します。また、すべての科目は、双方を養成するために十分な水準とします。

【教育方法】

1. アクティブ・ラーニング型講義

学生が関心や意欲を高めて知的好奇心を育て、価値と倫理教育の基盤である感性を磨くために、「教養ゼミ」(コミュニケーション技法)を配置します。そして、専門職養成と市民性涵養のために、学生の知的好奇心を発展させ、問題解決への知識や技術を高める授業を展開します。

2. シミュレーション教育

模擬的な状況を設定して、学習者としての個人やチームで看護ケアを行います。その経験に基づいて、最善の看護ケアを提供するにはどのような専門的な知識・技術・態度を備えていなければならないのかについて、互いにディスカッションを中心に、関連資料を活用したり、指導者からのフィードバックを参考にしたりしながら看護職者としての能力を高めます。

3. ICT (Information and Communication Technology) の活用

講義・演習などの一部を、適宜 Zoom などのオンラインを使用しながら行います。医療の場においても必要とされる ICT に慣れ、コミュニケーションツールとしての活用と共にマナーも身につけていきます。

4. ピアサポートを活用した国家試験対策

チューターや国家試験対策教員などを中心に、学生個々の学修状況を把握することにより、学生全員が国家試験に合格できるように支援します。看護師国家試験対策は、1年次より4年次まで開講し、資格試験勉強においても自主性を育みます。また、学習を習慣づけ専門的な知識を定着させるために、学習目標は個人とチームで設定し、個々の力を育てるのみでなくグループダイナミクスにより互いに学び、励まし合う場を提供します。

【評価】

4年間の総括的な学習成果として看護研究を課し、その成果を発表する場を設けます。また、カリキュラム改善のため、学期あるいは学期の中盤に学生の成績や授業への参加態度を確認するほか、授業評価を受け教育内容や方法の見直しを行います。また、ディプロマ・ポリシーに基づいた教育活動をその効果や効率的観点をつまね組織的に推進します。

ディプロマ・ポリシー

教育理念・目標に沿って設定した授業科目を履修し、以下のような能力を身につけ、所定の単位を修めた者に学士(看護学)の学位を授与する。

1. 平和を希求する姿勢を持っている。 (平和の希求)
2. 豊かな教養を身につけている。 (教養・人間性)
3. 高い倫理観と責任感をもち、他者との信頼関係を築き協働できる。 (倫理観・協働)
4. 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。
(知識・技能)
5. 地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を持っている。 (関心・理解)
6. 自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を持っている。 (地域貢献)
7. 多様な保健医療福祉の場において多職種との連携の中で、看護専門職としての機能を発揮する行動ができる。
(多職種連携)
8. 社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につけている。
(探求心)
9. 異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成することができる。
(受容・創造)

○健康科学部リハビリテーション学科の3つのポリシー

<p>アドミッション・ポリシー</p> <p>本学では、「心技一体」の建学の精神に則り、博愛精神・人間愛を有し、急激な環境変化に対応し得る高度な知識・技術を応用・創出し、学術を中心として授けるとともに、積極的思考の展開で保健・医療・福祉・教育の包括的アプローチを通じて地域社会、国際社会に貢献する人材を養成することを目的としている。</p> <p>そこで、健康科学部リハビリテーション学科は、単に基礎学力が高いだけでなく、豊かな人間性や明確な目的意識、保健・医療分野を生涯の職務とするという志を持った人材を確保するため、以下の資質・能力を持った学生を求めている。</p> <ul style="list-style-type: none">・人を思いやり、人を愛する心のある人・医療人としての高い資質を身につけ活躍したい人・自分の考えを積極的に話せて人とコミュニケーションをとれる人・ボランティアの素養を持ち、活動ができる人・基本的な生活習慣や、マナーが身に付いている人
<p>カリキュラム・ポリシー</p> <p>本学の教育理念に基づき高い教養をもった専門職を養成するため、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 4年間の修得科目において、1年次では基礎学力、専門基礎教育に力を入れている。また人間性、マナーを含めたコミュニケーション能力の育成をめざす。さらに2年次では、専門基礎科目に加え、専門基礎科目を基盤とした上で、より高い専門性や応用力を身につけるための専門科目の学習に力を入れている。教育指導は、担任制、チューター制を導入し個別指導を主体に行なう。2. 3、4年次では大学生にふさわしい学士力と実技技能を含めた専門的能力を高める。
<p>ディプロマ・ポリシー</p> <p>広島都市学園大学健康科学部リハビリテーション学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 平和を希求する心と豊かな人間性を身につけていること。(2) 修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につけていること。(3) 高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につけていること。(4) 地域・国際社会に貢献するために、地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につけていること。

○子ども教育学部子ども教育学科の3つのポリシー

<p>アドミッション・ポリシー</p> <p>子ども教育学部では、「心技一体」の建学の精神に則り、学生一人ひとりが人間としてよりよく生きること、子どもの成長に関わる楽しさや保育・教育の専門職としてのやりがい追求を追求することができるように支援する。</p> <p>その上で、</p> <ol style="list-style-type: none">1. 平和な心と豊かな人間性をもつ人材の育成を目指す。2. 柔軟な思考力に基づく知識・技術と人権尊重を基盤にした実践能力のすぐれた人材の育成を目指す。3. 時代の変化に合わせて、地域社会・国際社会に貢献できる心と技を備えた人材の育成を目指す。 <p>そこで、以下の資質・能力を持った学生を求めている。</p> <ul style="list-style-type: none">・ケアの精神と能力を有し、人を思いやり、人を愛する心のある人・教育者、保育者としての高い資質を身につけ地域社会において活躍したい人・自分の考えを積極的に表現し、他者とコミュニケーションをとり、協働して問題解決に取り組むことができる人・ボランティアの精神を持ち、積極的に活動しようとする人
<p>カリキュラム・ポリシー</p> <p>本学の教育理念に基づき、高い教養と豊かな人間性をもった専門職を養成するため、教育課程を「基礎教養科目」「専門基礎科目」「専門発展科目」の3群で構成し、体系的な学修、専門的な技術の修得を図る。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「基礎教養科目」は、人間力の育成を中心とした、大学での学びの基礎となる授業科目とする。2. 「専門基礎科目」は、教育・保育を専門とする基礎的な知識や技能を修得する授業科目とする。3. 「専門発展科目」は、教育・保育の高度な知識や技能を修得する授業科目とする。 <p>とりわけ、ケアすることの重要性を学び、教育・保育の専門的資質や能力、実践力を養成する。さらに、特別な支援を必要とする子どもへの理解やかかわり方について学ぶ。</p> <p>また、地域の小学校・幼稚園等や学内の保育施設、子育て支援拠点と連携して体験的な学びを展開し、理論と実践の往還による学修の深化を図る。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー</p> <p>子ども教育学部では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は、卒業が認定される。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力2. 人間愛のもと、ケアすることの意義を学び、教育・保育の専門的な知識・技術との統合を図る力3. 修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力4. 教育者・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力5. 社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力